

# Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Edition

フォレスト全体にわたるオブジェクトと属性、ディレクトリ、およびオペレーティング・システム・レベルでのADディザスタリカバリ

間違いをなくすることはできません。破損することもあるでしょう。ディザスタが発生することもあります。これらは予測不可能で、避けることができません。ランサムウェアやサイバー攻撃のようなディザスタがActive Directory (AD) を襲い、DCのオペレーティングシステムを破壊してしまったら、1分1秒も無駄にできません。迅速に回復する計画がなければ、ADディザスタによりビジネスが停止してしまうことがあります。

Quest® Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionを使用してADディザスタに備え、リカバリしましょう。フォレスト全体にわたるオブジェクトと属性レベル、ディレクトリレベル、およびオペレーティング・システム・レベルでのあらゆるディザスタから迅速に回復するために、完全なバックアップとリカバリ戦略を実装します。Recovery Manager

for Active Directory Disaster Recovery Editionがあれば、主導権を握ることができます。これはADにかかる保険のようなもので、なくては安心できません。

Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionを使用すると、バックアップを自動化してADのバックアップデータと現在の値を素早く比較し、差分を特定して必要なデータを瞬時にリカバリできます。きめ細かいオンラインリストア機能を実行することで、ADをオフラインにすることなくディレクトリのすべてのセクションをリストアでき、コストを削減し、生産性を向上させます。

不必要なスキーマの拡張、データベースの破損、さらにはサイバー攻撃やランサムウェアなどのより重大なディザスタによって、企業が苦境に陥ることがあります。その結果、数時間から数日にも及ぶダウンタ

「当社のグローバルデータが Recovery Manager for Active Directoryによって保護され、安全であることがわかっているのが安心していられます。」

Amway、上級システム・サポート・スペシャリスト、Marc Denman氏

## メリット:

- ・ フォレスト全体にわたるオブジェクトと属性レベル、ディレクトリレベル、およびオペレーティング・システム・レベルでの完全なADバックアップとリカバリ
- ・ 手動のステップを自動化することで、ドメイン全体またはフォレスト全体のリカバリを簡素化および迅速化
- ・ ADディザスタによって生じるダウンタイムと生産性の損失を大幅に低減
- ・ 検疫を行うことで破損したドメインコントローラー (DC) の複製を防止
- ・ 中央コンソールから同時にDCをリストアすることで、時間と労力を節約
- ・ 仮想ラボを作成してディザスタリカバリの計画をテストすることでコンプライアンスを簡素化し、リカバリ作業に関する詳細なレポートを作成
- ・ オブジェクト自体が削除されていない場合でも、個々の属性をリストア
- ・ 複数のRecovery Managerのコンソールインスタンスによって作成されたバックアップを統合することで、問題解決に要する時間を短縮
- ・ オンラインのきめ細かいリストアにより、ダウンタイムとネットワークにログオンしているユーザへの影響を排除

ペアメタルのバックアップ: ペアメタルから自動的にリストアし、続いて最新のシステム状態のバックアップを使用します。

「Recovery Manager for Active Directoryがなければ、ADアカウントのリストアは悪夢です。時間やコストを節約できるだけでなく、精神的にも救われます。」

スモールビジネス金融サービス  
企業、IT管理者

イムや生産性の損失により、組織の収益や評判が損なわれる可能性があります。Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionは、ディザスタ発生時にフォレスト全体のオブジェクトと属性、ディレクトリ、および状態データとオペレーティングシステムを含むサーバのリカバリを自動化および簡素化します。

Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionは、その自動リカバリ機能により、ドメイン・コントローラー・レベルのADディザスタからのリカバリ時間を最大95パーセント短縮できます。

影響を受けていないバックアップを選択し、損傷した環境を検疫し、リカバ리를容易にするために必要なすべての手動ステップを自動化することで、Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionはダウンタイムを大幅に短縮します。このプロセスはMicrosoftのネイティブなフォレスト・リカバリ・アプローチと密接に連携しており、一部のDCはバックアップからリストアし、残りのDCはDCPromoを使用して一度降格してから再昇格させることでリストアすることもできます。

Recovery Manager for Active Directory Disaster Recovery Editionではきめ細かいオンライン委任リストアが可能で、ドメイン全体またはフォレスト全体をリカバリするために必要な手動ステップを自動化します。

## 特長

- **オペレーティングシステムのリカバリ** — 自律的にドメインコントローラーのオペレーティングシステムを素早くリストアします。ダウンタイムを大幅に短縮し、ユーザーが迅速に作業に戻れるようにします。
- **仮想テストラボ** — ディザスタシナリオをテストし、本番環境に変更を加える前に安全にテストするために、本番データを使用する別個の仮想フォレスト・テスト・ラボを構築して、DRリカバリ計画を実証および検証します。リカバリプロセスについて、リカバリ前後の組織の状態やドメインコントローラーに適用されたアクションを含む、タイムスタンプ付きの詳細なレポートを自動で生成します。
- **比較レポート作成** — ADのオンライン状態とバックアップとを比較したり、複数のバックアップを比較したりすることによって、前回のバックアップ以降に行われた変更をハイライトできます。削除または変更されたオブジェクトや属性を素早く特定でき、リカバ리를迅速に行えるようになります。

速に行えるようになります。Change Auditorと統合することで、変更を行ったユーザーを簡単に特定できます。

- **AD/Azure ADのハイブリッド環境のリカバリ** — Azure AD Connectを使用したハイブリッドAD環境を運用している場合でも、同期されていないクラウド専用のオブジェクトや属性が存在する場合でも、オンプレミスADとAzure ADの両方の可用性と整合性を維持することがセキュリティとコンプライアンスのために重要です。Quest On Demand Recoveryでは、単一のリカバリダッシュボードを使用して、ハイブリッドのオブジェクトとクラウドのみのオブジェクトの区別、本番用バックアップとリアルタイムバックアップの比較レポートの作成、オンプレミスとAzure ADを問わないすべての変更のリストアを行うことができます。
- **きめ細かいオンラインリストア** — オブジェクト自体が削除されていない場合でも、アカウント設定、グループメンバーシップ、バイナリ属性など個々の属性をリストアできます。これにより、ドメインコントローラーを再起動することなく、目的の属性だけをリストアできます。
- **IT Security Searchとの統合** — IT Security Searchを使用して、どのADオブジェクトが変更されたかを、変更前と後の値を含めて見つけ出し、数回クリックするだけで以前の状態にリストアします。
- **リカバリコンソールのフォールトトレランス** — リカバリコンソールの複数のインスタンス間で永続的な設定データを共有しているため、予期しない中断が発生した場合でも、最後のリストア動作を迅速に再開できます。
- **ADの管理および正常性検証** — DCのアクセス性、レプリケーション、信頼性、ユーザー認証を確認することで、ADで潜在的な問題の兆候が現れていないかを検査し、障害の発生を防ぎます。
- **リカバリロードマップ** — リカバリプロセスの詳細なレポート（リカバリのすべての段階の概要を含む）を作成することで、プロジェクト全体の理解を深め、より詳細に制御することが可能になります。

## QUESTについて

Questは、急速に変化するエンタープライズITの世界にソフトウェアソリューションを提供しています。データの爆発、クラウドサービスへの拡張、ハイブリッドデータセンター、セキュリティ脅威、規制上の要件によって生じる課題のシンプル化を支援します。Questのポートフォリオは、データベース管理、データ保護、統合エンドポイント管理、IDおよびアクセス管理、Microsoftプラットフォーム管理などのソリューションで構成されます。